

【部活動について】

令和4年に、「部活動の地域移行」が国の方針として打ち出され、報道等で耳にする機会が多くなりました。部活動は長らく中学校の教育活動として定着しています。保護者・地域のみならず、中学時代の思い出の中に、部活動の出来事が鮮明に残っているのではないのでしょうか。私自身も、中学時代はバレーボール部に所属していて、寒い冬の朝練や夏休みの引退試合で最後に負けたときのことを、昨日のこのように思い出します。教員になってからは、競技経験はないものの、バスケットボール部の顧問となり、指導方法や審判に苦心しながらも生徒と一緒に汗を流したものです。

部活動の良さは、その競技（文化・科学的なものも含まれますが）について、授業よりも深く身に付けることができること以上に、仲間や顧問の先生との強い結びつきを得たり、向上心や忍耐力を育てたり、時には悔し涙を流し、それでもがんばろうと気持ちを切り替える、というような様々な経験を味わうことにあると思います。多感な思春期にこのような経験をするのは、大きな教育的意義があります。



しかし、報道等でも伝えられているように、少子化によって生徒数が減少し、特にチームスポーツにおいて、競技に必要な人数がそろわないということが全国的に起こってきました。本校もまさにこの問題に直面しているところです。

そこで、前述のように「部活動の地域移行」という方針と、令和5年から7年の3年間で「改革推進期間」というスケジュールが示されました。河内長野市でも、国の方針に沿って、現在準備を進めています。学校の部活動にはない種目にも選択の幅が広がり、本校のような小さな学校の生徒にとっては、他校の生徒や先生以外の大人との出会いを通して得難い体験の場となるのではないかと期待しています。

長年学校で実施していた部活動を学校の外で行うには、いくつか解決しなければならない課題がありますが、一番大切にしたいのは、部活動で育ててきた生徒の成長です。学校と移行先とが連携・協力して、部活動の良さを継続・発展させていくようにしたいと考えています。

「不易と流行」という言葉があります。大切なものは時代を超えても変わらないけれど、方法については時代に合ったものによって変わっていくととらえると、部活動で得るものが生徒の成長であることは不変で、部活動の在り方は変化しながら持続可能な形に移行していくのだろうと思えます。今後、本校でも部活動も含め方法や形は柔軟に変化させながら、大切なものを見失わずに教育活動を進めていきたいと思っています。

校長 上代 婦美子

◎学校教育自己診断アンケートについて

学校教育自己診断のアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。皆様にご協力いただいたアンケートの集計結果に基づいた課題を克服し、よりよい南花台中学校にするため教職員一同、一層努力してまいります。また、貴重なご意見もいただきましたので教育活動に役立ててまいります。アンケートの集計結果は3月に保護者様向けに配付する予定です。また、学校のホームページにも掲載いたしますので、あわせてお知らせください。

◎体育館の工事

体育館にクーラーが設置されました。今年の夏は快適に体育館での活動ができそうです。夏までまだ先ですがたのしみですね。話によると20℃までの軽い暖房なら可能ということなので、すこしは温かく過ごせるかも？



◎今年の節分は2月2日なぜ？

通常は2月3日が節分になりますが、2025年の節分は2月2日です。なぜかというところ節分の日付は立春の影響を受けて変動するためです。2025年の立春は2月3日であるため、その前日が節分となるそうです。



◎キャリア教育

1・2年生のキャリア教育。5名の講師の方からお話が聞けました。



美容師

司法書士

技術者
(ダイキン工業)

カウンセラー
及び僧侶

看護師

◎2月・3月の花植え隊活動日

2月6日(木)・20日(木) 3月6日(木)・13日(木)
活動時間は9時から11時です。3月13日は卒業式の前日です。式場や式場周りをきれいなお花で飾り付けしていただきます。お時間がある方は是非ご参加ください。